

日曜日礼拝順序

2017年2月19日 午前11時

南部チャペル

前奏 頌栄	539	武井里花姉
開会の祈り 主の祈り 交読文	45	Scroggins 由紀牧師 一同 コリント前書13章
賛美歌 祈りの時	2	“いざやともに こえうちあげて” Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹祐三郎兄 ヨハネの第一の手紙5章3-5節
賛美歌	310	“しずけいのりの ときはいとたのし”
説教		“世に勝つ者” Scroggins 由紀牧師
賛美歌 献金 報告 頌栄 祝禱 後奏	529	“ああうれし わが身も” 三繩都美子姉 Scroggins 由紀牧師 武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“靈的な備え”

“だから、目を覚ましていなさい。その日、その時があなたがたにはわからないからである。”（マタイによる福音書25章13節）

今年のシカゴは暖冬ですが、冬でも穏やかなはずの西海岸の気候があまりよくないそうで、ニュースを見ながら、数十年前に初めてシアトルに行った時のことを思い出しました。めずらしく大雪が降り、街全体が交通止めになったのです。寮が坂の上であり、雪で滑る坂を下りるのが大変で、上着を敷いて滑り降りた記憶があります。これは楽しい思い出の一つですが、今考えると当地では、凍結防止剤を買っておくという中西部では当たり前の備えが必要なかったことを思います。厳しい冬の寒さは、私たちに備えることの意味をも教えてくれているようです。

聖書はくりかえし、私たちに主が来られる日のために、靈的に備えることを勧めています。主イエスは、マタイによる福音書25章において、十人の乙女のたとえを用いて、靈的な備え（油）をいつもするように、と教えられています。同じように花婿（主イエス）の到来を待っている乙女たちでしたが、備えのない乙女たちは、婚宴に参加することができませんでした。これは信徒といってもご聖霊（油）を切らして世の価値観に迎合し、靈的に眠っているクリスチャンに対しての大いなる警告といってもいいでしょう。私たちは普段の生活で靈的な備えをしているのでしょうか？冬支度を周到にするように、私たちもご来臨を待ち望み、祈りがかかさず、靈の備えを心掛けたいものです。（Scroggins 由紀）

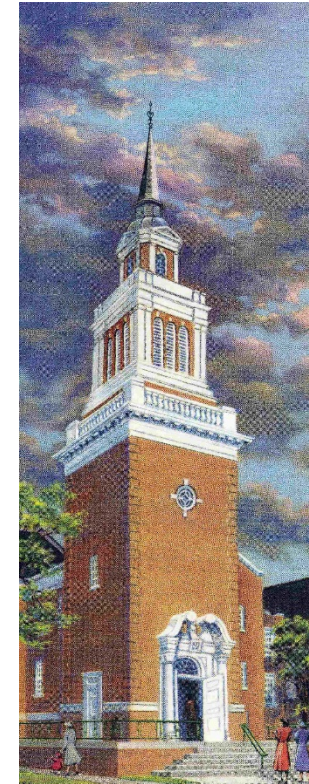
記事: 消息

—陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Kate Whitmore 姉、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

—2月12日は癒しの礼拝が行われ、説教は“Be Healed, Go in Peace”と題してマルコによる福音書5章25-34節からでした。12年間も血を患っていた女性が、主イエスの衣を触った時、彼女は癒されました。そして、主イエスは彼女を探し、彼女が申し出ると、主は彼女の信仰をたたえ、祝福を与えられました。けがれた女性として世の中から隔離されていた女性が、癒され、新たな信仰告白をし、主から娘よ、と呼ばいけられて、力を得た過程について考えました。

お知らせ

—今年の Day of Remembrance の集会は本日の午後2時から Chicago History Museum で行われます。戦時中の日系人収容を描いた2つのショートフィルムが上映され、詩の朗読もあります。アメリカの歴史の中で語り継がれるべき価値のある日系人収容体験をよりよく知り、後世に伝える良い機会です。皆さんどうぞご参加ください。



週報

第3614号
2017年 2月19日

発行: 2017年2月15日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200 Ext. 26

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org